

Presario 12XL407 FDISK・リストア手順

FDISK・リストア作業を実施される前に

- ・ 作業にあたり、「Quick Restore」と記載のある紺色の2枚組CD-ROM(クイックリストアCD、またはリストアCDと呼びます)を、お手元にご準備下さい。
- ・ 周辺機器 (ハードディスク、メモリ、LANカードやSCSIカード等)を増設している場合、リストアが正常に終了しない場合があります。リストア作業をする場合は周辺機器を取り外してから作業を実施して下さい。
- ・ リストアを実施するとハードディスク内のデータは全て消去されますので、ご注意下さい。作業前に必ずデータのバックアップをお取り下さい。

再起動の方法について

- ・ コンピュータを再起動する場合は、キーボードから[Ctrl]+[Alt]+[Delete]キー (機種によっては[Del]キー)を同時に1度押します。
- ・ この操作を数回繰り返しても再起動しない場合、コンピュータの電源ボタンを4秒以上押し続けることで電源を落し強制終了することができます。強制終了後は10秒以上経過してから電源を入れ起動して下さい。

-----以下作業手順-----

1.出荷時のリソースへ戻す設定 (セットデフォルト)

目的 :ハードウェアの設定を出荷時の状態に戻します。

- 1) 電源を投入後、[COMPAQ]のロゴ画面でキーボードから[F10]キーを数回押します。
画面に「Setup Confirmation Save configuration changes...」と表示された場合、
キーボードの[]キーにて[No]を選択し、[Enter]キーを押します。
- 2) 「PhoenixBIOS Setup Utility」の画面が表示されます。[F9]キーを押します。
- 3) 「Load default configuration now?」と表示されます。[Enter]キーを押します。
- 4) [F10]キーを押します。
ここでQuick Restore CDの一枚目(Disk 1 of 2 と記載があるCD)をドライブに入れて下さい。
- 5) 「Save configuration changes and exit now?」と表示されます。[Enter]キーを押すと、自動的に再起動します。

2.FDISKコマンドによる領域の確認と削除

目的 現在のハードディスク領域の確認と削除をします。

- 1) Quick Restore CDが入ったまま再起動し、「ようこそ」という青い画面が表示されます。[Esc]キーを押します。
- 2) MS-DOS プロンプト画面に「A:\CPQS\TOOLS>」と表示されます。
- 3) 「A:\CPQS\TOOLS>」の後に **fdisk** と入力し、[Enter]キーを押します。
アルファベットの入力は、大文字/小文字どちらでも構いません。
- 4) 「Do you wish to enable large disk support(Y/N).....? [Y]」の表示がでますので、[Enter]キーを押します。
次の画面が表示されます。

FDISK Options

Current fixed disk drive :1
Choose one of the following :

1. Create DOS partition or Logical DOS Drive
2. Set active partition
3. Delete partition or Logical DOS Drive

4. Display partition information

Enter choice : []

- 5) ここでキーボードから[4]キーを押し[Enter]キーを押すと、次のハードディスクの領域情報を確認する画面が表示されます。各 Partition(パーティション)の Mbytes(ハードディスク容量)、Usage(パーセンテージ)を確認します。尚、ご使用の機種によっては数値が異なる場合があります。

Display partition information

Current fixed disk drive :1

Partition	Status	Type	Volume Label	Mbytes	System	Usage
C:1	A	PRI DOS		10078	FAT32	70%
2		EXT DOS		4319		30%

Total disk space is 14396 Mbytes (1 Mbytes = 1048576 bytes)

工場出荷時のハードディスクの領域は、上記のとおりパーティションが2つに分かれています。

Usage(パーセンテージ)は上段70%、下段30%と表示されます。この数値が明らかに異なる場合、または、C:1しか表示されていない場合は、下記6)からの操作を進めることができない場合があります。その場合は作業を一旦中断し、プレサリオサポートセンターにお問い合わせ下さい。

- 6) [Esc]キーを押します。次の画面が表示されます。

FDISK Options

Current fixed disk drive :1
Choose one of the following :

1. Create DOS partition or Logical DOS Drive
2. Set active partition
- 3. Delete partition or Logical DOS Drive**
4. Display partition information

Enter choice : []

- 7) ここでキーボードから[3]キーを押し[Enter]キーを押します。次の画面が表示されます。

Delete DOS Partition or Logical DOS Drive

Current fixed disk drive :1
Choose one of the following :

1. Delete Primary DOS Partition
2. Delete Extended DOS Partition
- 3. Delete Logical DOS Drive(s) in the Extended DOS Partition**
4. Delete Non-DOS Partition

Enter choice : []

8) ここでキーボードから[3]キーを押し[Enter]キーを押します。次の画面が表示されます。

```

Delete Logical DOS Drive(s) in the Extended DOS Partition
Drv  Volume Label      Mbytes  System  Usage
D:  SYSTEM SAVE      4319    FAT32   100%

WARNING! Data in a deleted Logical DOS Drive will be lost.
What drive do you want to delete . . . . .? [ ]
```

- 1 Volume Label (ボリュームラベル)の欄は表示されない場合があります。
- 2 MbytesとUsageは機種や状況により異なる場合があります。

9) ここでキーボードから[D]キーを押し[Enter]キーを押します。次の画面が表示されます。

```
Enter Volume Label . . . . .? [_____]
```

10) DドライブのVolume Labelに表示されている文字を入力し、[Enter]キーを押します。次の画面が表示されます。
例 :g)の画面が表示されている場合は、[SYSTEM_SAVE]と入力し、[Enter]キーを押します。
「_」(アンダーバー)入力するには、[Shift]キーを押しながら、[ろ]キーを押します。

```
Are you sure (Y/N) . . . . .? [ ]
```

11)ここでキーボードから[Y]キーを押し[Enter]キーを押します。その後[Esc]キーを2回押すと、次の画面が表示されます。

```

FDISK Options

Current fixed disk drive :1
Choose one of the following :

1. Create DOS partition or Logical DOS Drive
2. Set active partition
3. Delete partition or Logical DOS Drive
4. Display partition information

Enter choice : [ ]
```

12) ここでキーボードから[3]キーを押し[Enter]キーを押します。次の画面が表示されます。

```

Delete DOS Partition or Logical DOS Drive

Current fixed disk drive :1
Choose one of the following :

1. Delete Primary DOS Partition
2. Delete Extended DOS Partition
3. Delete Logical DOS Drive(s) in the Extended DOS Partition
4. Delete Non-DOS Partition

Enter choice : [ ]
```

13) ここでキーボードから[2]キーを押し[Enter]キーを押します。次の画面が表示されます。

```
Do you wish to continue (Y/N) . . . . .? [ ]
```

14) ここでキーボードから[Y]キーを押し[Enter]キーを押したあと、[Esc]キーを押します。次の画面が表示されます。

FDISK Options

Current fixed disk drive :1
 Choose one of the following :

1. Create DOS partition or Logical DOS Drive
2. Set active partition
- 3. Delete partition or Logical DOS Drive**
4. Display partition information

Enter choice : []

WARNING! No partitions are set active – disk 1 is not startable unless a partition is set active

15)ここでキーボードから[3]キーを押し[Enter]キーを押します。次の画面が表示されます。

Delete DOS Partition or Logical DOS Drive

Current fixed disk drive :1
 Choose one of the following :

- 1. Delete Primary DOS Partition**
2. Delete Extended DOS Partition
3. Delete Logical DOS Drive(s) in the Extended DOS Partition
4. Delete Non-DOS Partition

Enter choice : []

16)ここでキーボードから[1]キーを押し[Enter]キーを押します。次の画面が表示されます。

What primary partition do you want to delete? [1]

17) [1]と表示されていることを確認し、そのまま[Enter]キーを押します。Volume Label入力画面になります。

Enter Volume Label? []

18) CドライブのVolume Labelに表示されている文字を入力し[Enter]キーを押します。次の画面が表示されます。
 Volume Labelの欄が空白の場合、入力する必要はありません。空欄のまま[Enter]キーを押します。

Are you sure (Y/N)? [N]

19)ここでキーボードから[Y]キーを押し[Enter]キーを押したあと[Esc]キーを3回押します。
 「A: \ CPQS \ TOOLS \」の画面に戻ります。

20) Quick Restore CDをドライブに入れたままの状態、[Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを同時に押し、コンピュータを再起動します。

3.Quick Restore CDによる領域の復元

目的 :Quick Restore CD を使用し、ハードディスクのパーティションの割り当てを出荷時の状態に戻します。

- 1) Quick Restore CD が入ったまま再起動し、「ようこそ」という青い画面が表示されます。[Enter]キーを押します。
- 2) 「ハードディスクの領域作成」の画面が表示されますので、[Enter]キーで先に進みます。
- 3) MS-DOS 画面にて、「Verifying drive integrity, XX% complete.」が数回表示され、100%になるまで進みます。（この表示は数回繰り返されることがあります）
- 4) 自動的に再起動します。

4.FORMAT コマンドによるハードディスクの初期化

目的 :ハードディスクを利用可能な状態にします。

- 1) Quick Restore CD が入ったまま再起動し、「ようこそ」という青い画面が表示されます。[Esc]キーを押します。
- 2) MS-DOS 画面にて「A:\CPQS\TOOLS>」が表示されます。C ドライブのフォーマットを行ないます。
「A:\CPQS\TOOLS>」の後に **format c: /u** と入力し、[Enter]キーを押します。
はスペースキーを表します。入力は、大文字/小文字どちらでも構いません。
- 3) 「WARNING,... Proceed with Format(Y/N)?」と表示されます。キーボードから[Y]キーを押し[Enter]キーを押します。
- 4) フォーマットが開始されます。0%~100%まで数値が進みます。
- 5) フォーマットが完了すると、Volume label の入力を促す画面が表示されますが、何も入力をせず空白のまま [Enter]キー を押します。「A:\CPQS\TOOLS>」の状態に戻ります。
- 6) 次に、D ドライブのフォーマットを行ないます。
「A:\CPQS\TOOLS>」の後に **format d: /u** と入力し、[Enter]キーを押します。
- 7) C ドライブのフォーマット時と同様の操作を行ないます。手順は上記 3)~5)迄の作業をもう一度行ないます。
- 8) その後、Quick Restore CD をドライブに入れたままの状態ですべてのキーを同時に押し、コンピュータを再起動します。

5.Quick Restore CD による復元

目的 :Quick Restore CD を使用し、出荷時のイメージをハードディスクに書き込みます。

- 1) Quick Restore CD が入ったまま再起動し、「ようこそ」という青い画面が表示されます。[Enter]キーを押します。
- 2) 「クイックリストア セットアップ処理中」の表示の後、「重要事項」画面が表示されます。[Enter]キーを押します。
- 3) 「クイックリストア セットアップ処理中」の表示の後、「QuickRestore Option Menu」画面が表示されます。
[2.複数枚 CD の復元]を選択するため、キーボードから[2]キーを押します。
- 4) 「工場出荷時のイメージをシステムセーブ領域にコピーしています」の画面が表示されます。自動的に 1 枚目の Quick Restore CD (Disk 1 of 2) がドライブより出てきます。

- 5) 「次の CD を CD/DVD ドライブに挿入してください(2)」とメッセージが表示されます。2 枚目の Quick Restore CD (Disk 2 of 2) をドライブに入れ、[Enter] キーを押します。
- 6) 再度 「工場出荷時のイメージをシステムセーブ領域にコピーしています。」の画面が表示されます。自動的に 5) で挿入した Quick Restore CD (Disk 2 of 2) がドライブより出てきます。
- 7) 「クイックリストア CD を CD/DVD ドライブに挿入してください」というメッセージが表示されます。ここでまた 1 枚目の Quick Restore CD (Disk 1 of 2) をドライブにセットし、[Enter] キーを押します。
- 8) 「QuickRestore」の画面が表示されます。パーセンテージが進み、システムの復元作業が開始されます。
- 9) 復元作業完了後、自動的に Quick Restore CD (Disk 1 of 2) がドライブより出てきます。同時にコンピュータは再起動します。この時点で Quick Restore CD (Disk 1 of 2) をドライブのトレイより取り出し、トレイを元に戻してください。
- 10) しばらくすると、Windows が起動します。Windows 起動中、「COMPAQ QuickRestore」の画面が右上に表示されます。作業は自動的に進みます。作業完了後、自動的に何度か再起動します。

この作業にはかなりの時間を必要とします。

いくつかの画面表示とともに自動的に進行していきますので、そのまましばらくお待ち下さい。
- 11) 再起動後、Windows Me のセットアップウィザードの画面になります。これでリストア作業の完了になります。画面の指示に従って、個人情報等の再設定を行ってください。

以上